

Course number		U-LAS00 10001 LJ34					
Course title (and course title in English)		哲学Ⅰ Philosophy I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,MATSUMOTO KEIJIROU
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods		Mon.3		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>哲学とは何か。過去の大きな哲学者たちは何をどのように問うていたのか。本授業では、古典的なテキストの読解をととして哲学史的な知識を身につけることを目的の一つにする。</p> <p>そしてそれとともに、受講生自らが哲学的な問いを考えていくことを目指す。それが本授業のもう一つの目的である。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・哲学史（古代から18世紀頃まで）の基礎知識を身につける。 ・哲学的な問いを自ら考えることができるようになる。 							
[Course schedule and contents)]							
<p>本授業（Ⅰ）では、導入的な話のあと、古代から18世紀頃までの哲学の古典の抜粋を読解していく。</p> <p>第1回 導入 哲学とは何をどのように問うのか</p> <p>第2回 「古典を読む」ということ</p> <p>第3回 プラトン（1）</p> <p>第4回 プラトン（2）</p> <p>第5回 アリストテレス（1）</p> <p>第6回 アリストテレス（2）</p> <p>第7回 トマス・アキナス（1）</p> <p>第8回 トマス・アキナス（2）</p> <p>第9回 デカルト（1）</p> <p>第10回 デカルト（2）</p> <p>第11回 ロック（1）</p> <p>第12回 ロック（2）</p> <p>第13回 カント（1）</p> <p>第14回 カント（2）</p> <p>最終回 フィードバック</p>							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
<p>授業では毎回課題を出す。成績は、「授業への参加態度」（40％）と「課題に対する回答」（50％）、<u>ならびに学期末の「レポート」（10％）によって評価する。詳細は初回講義時に説明する。</u></p> <p style="text-align: right;">Continue to 哲学Ⅰ(2)</p>							

哲学Ⅰ(2)

[Textbooks]

授業で使う資料は、コピーを配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業で扱う資料を必ず読んでくること。十分な予習が必要である。

[Other information (office hours, etc.)]

原典を読みながら考える。そのなかでさまざまな問いを見つけ出して、さらに考える。大人数の講義形式の授業ではあるが、できる限りそのようなことを行って、知識の習得にとどまらない哲学的な知の営みを経験してほしいと思っている。

適正授業規模の範囲内で行うため、履修人数制限を行う。

[Essential courses]